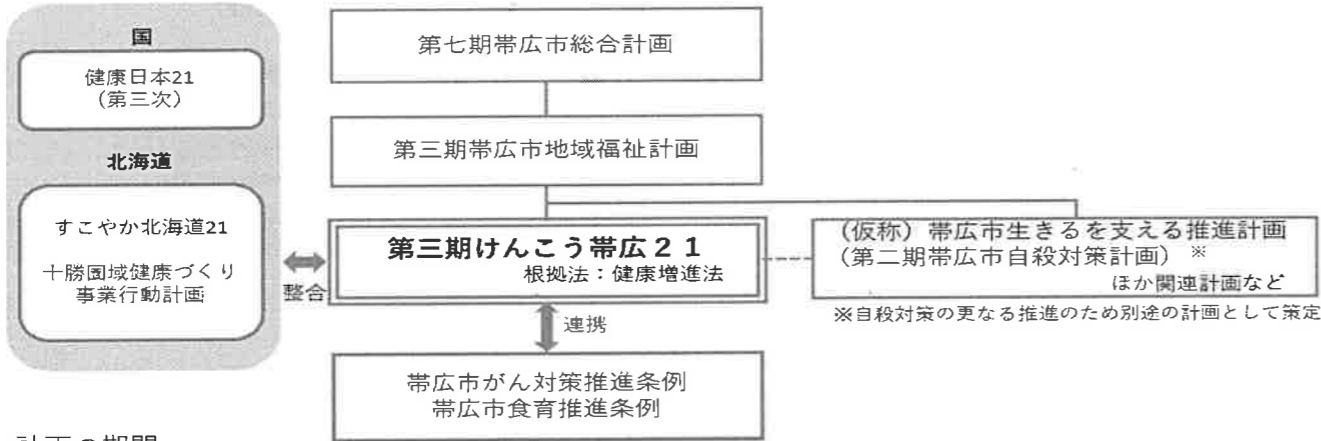


## 1 計画の策定にあたって

### (1) 計画策定の目的

健康寿命を延ばし、誰もが健やかで心豊かに生活できるまちの実現に向け、市民の健康増進に資する基本的事項を示し、必要な取り組みを進めることを目的に策定する。

### (2) 計画の位置付け



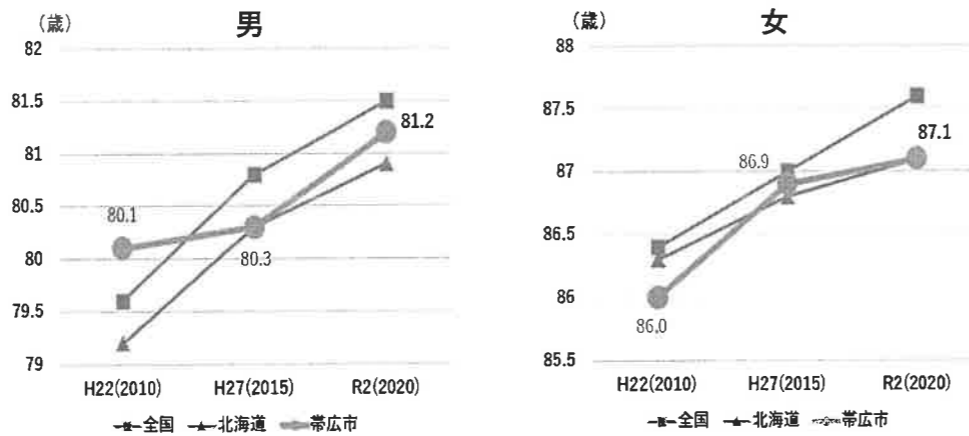
### (3) 計画の期間

令和6（2024）年度～令和17（2035）年度までの12年間とし、国の動向を踏まえ中間評価を行う。

## 2 帯広市の現状について

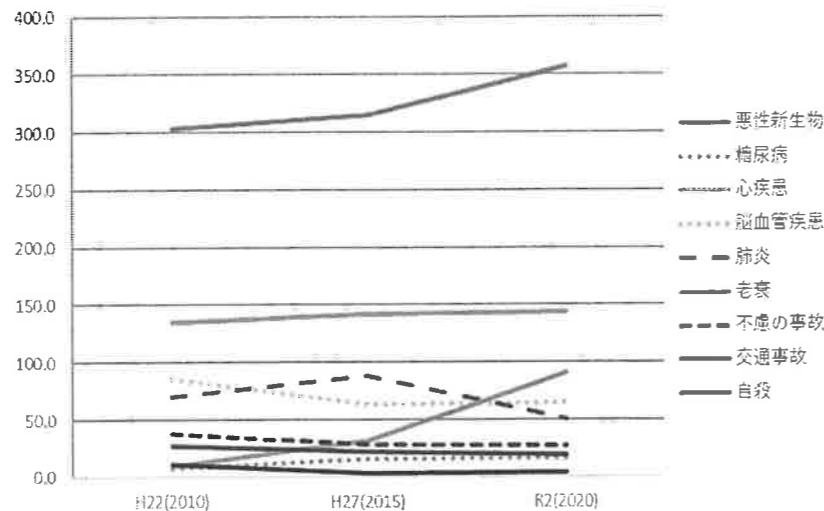
### (1) 帯広市の平均寿命

令和2年の帯広市の平均寿命は男性が81.2歳、女性が87.1歳で、過去と比較すると伸びてきているものの、全国（男性81.49歳、女性87.60歳）よりも低い状況となっている。



### (2) 帯広市の主要死因別死亡率

帯広市の人口10万人当たりの死亡率は、悪性新生物（がん）が第1位、心疾患が第2位で不動となっている。以下、順位の変動がある中、近年では老衰が第3位となっている。



## 3 第二期けんこう帯広21の取り組み状況と課題

国や北海道と比べ有所見者や死亡率が多い状況にある「糖尿病」「がん」「こころの健康」を本市における重点課題として取り組むとともに、ライフステージに共通してみられる健康課題について取り組みを進めてきた。

### (1) 重点課題別取り組み状況と課題

#### ① 糖尿病対策

取り組み	・ 特定健康診査、特定保健指導の実施、受診勧奨や未受診者対策の実施 ・ 糖尿病重症化予防等に関する保健指導の実施や、糖尿病に関する周知啓発
課題	・ 糖尿病に関する健診項目であるHbA1cの有所見者の割合が増加しており、発症予防の取り組みの強化が必要 ・ 糖尿病有病者数の増加の抑制が進まず、医療機関と連携した糖尿病重症化予防が必要

#### ② がん対策

取り組み	・ がん予防に関する普及啓発（企業やがん患者会と連携したイベント等含む） ・ がん検診の実施や、受診しやすい体制の整備（託児付き・休日の検診、レディースセット検診、インターネット申し込み、胃内視鏡検査の実施）
課題	・ 全国と比べて、がんの死亡率が高い ・ がん検診の受診率は一部の検診で向上したものの、目標に達していない

#### ③ こころの健康対策

取り組み	・ こころの病気や健康づくりについての周知啓発（ホームページ、広報、出前講座等） ・ メンタルセルフチェックができるこころの体温計の実施 ・ ゲートキーパー養成講座の実施
課題	・ 全国と比較すると自殺者の割合が多く、引き続き関係機関との連携や、相談窓口等の周知啓発の対策を講じることが必要

### (2) ライフステージ別取り組み状況と課題

妊娠・出産期、乳幼児期	・ 妊娠中の生活習慣、乳幼児期の食生活や口腔衛生の習慣については、普及啓発等の取り組みにより評価指標はおおむね良い結果となっている
学齢期	・ う歯数は減少しており、保護者の歯科保健に対する意識の高まりや学校保健の歯科指導などが要因として考えられる ・ こどもの肥満割合が増加しており、食生活や運動の習慣づくりなど総合的な取り組みが必要
青年期・壮年期・中年期	・ 特定健康診査や保健指導・健康相談などを実施してきているが、男女ともに肥満割合が多くなっており、肥満の是正への支援が必要 ・ 働き盛り世代へのアプローチとして企業等と連携し、食や運動、休養などの健康への関心を持ってもらうための情報発信の手法や内容の検討が必要
高齢期	・ 介護予防事業や出前健康講座などでフレイルの予防について啓発しているものの、女性の1割がやせであることから、低栄養を含めたフレイル予防の取り組みが必要 ・ 口腔機能の維持・向上のため歯科健診の重要性を啓発していくことが必要

### (3) 総括

重点課題のうち、「糖尿病」「がん」については達成できなかった評価指標が多く、「こころの健康」については、全国に比べ自殺者の割合が多い現状にあるなど、より効果的な取り組みが必要である。また、ライフステージに応じた取り組みは当該世代の健康課題だけでなく、生涯を経時的に捉えた健康づくりの視点を持ち進めていくことが必要である。

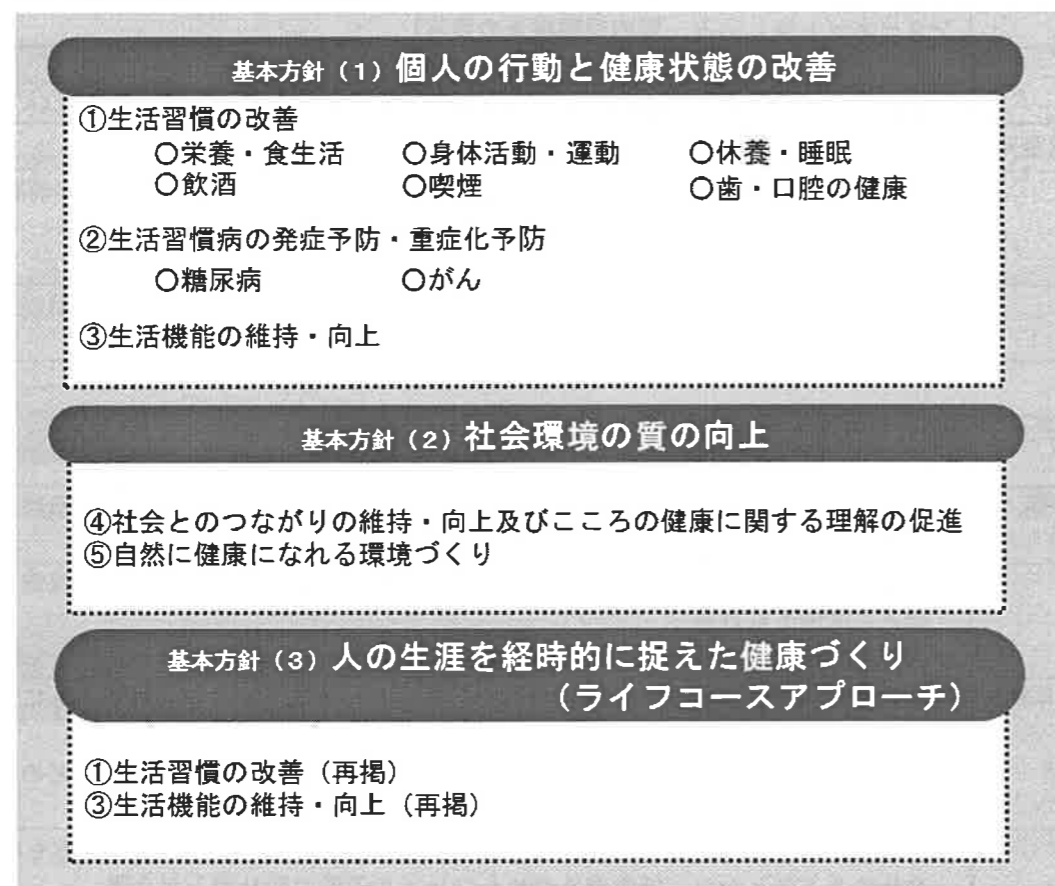
## 4 計画の目指すもの

**基本理念：**市民一人ひとりが、主体的に生活の質の向上に努めるとともに、多様な主体により身近な地域で健康づくりに取り組むことのできる社会環境の整備をすすめ、健やかで心豊かに生活できるまちを目指す。

**目標：**誰もがいつまでも健康で充実した生活を送ることができるよう、健康寿命の延伸に取り組む。

- 基本方針：**
- (1) 個人の行動と健康状態の改善
  - (2) 社会環境の質の向上
  - (3) 人の生涯を経時的に捉えた健康づくり（ライフコースアプローチ）

- 基本的施策：**
- ①生活習慣の改善
  - ②生活習慣病の発症予防・重症化予防
  - ③生活機能の維持・向上
  - ④社会とのつながりの維持・向上及びこころの健康に関する理解の促進
  - ⑤自然に健康になれる環境づくり



## 今後のスケジュール

- 8月 帯広市健康生活支援審議会健康づくり支援部会（以下、健康づくり支援部会）協議  
厚生委員会へ計画骨子について報告
- 11月 健康づくり支援部会協議、厚生委員会へ計画原案について報告
- 12月 計画原案に対するパブリックコメントの実施
- 2月 健康づくり支援部会協議、厚生委員会へパブリックコメント結果及び計画案について報告
- 3月 成案

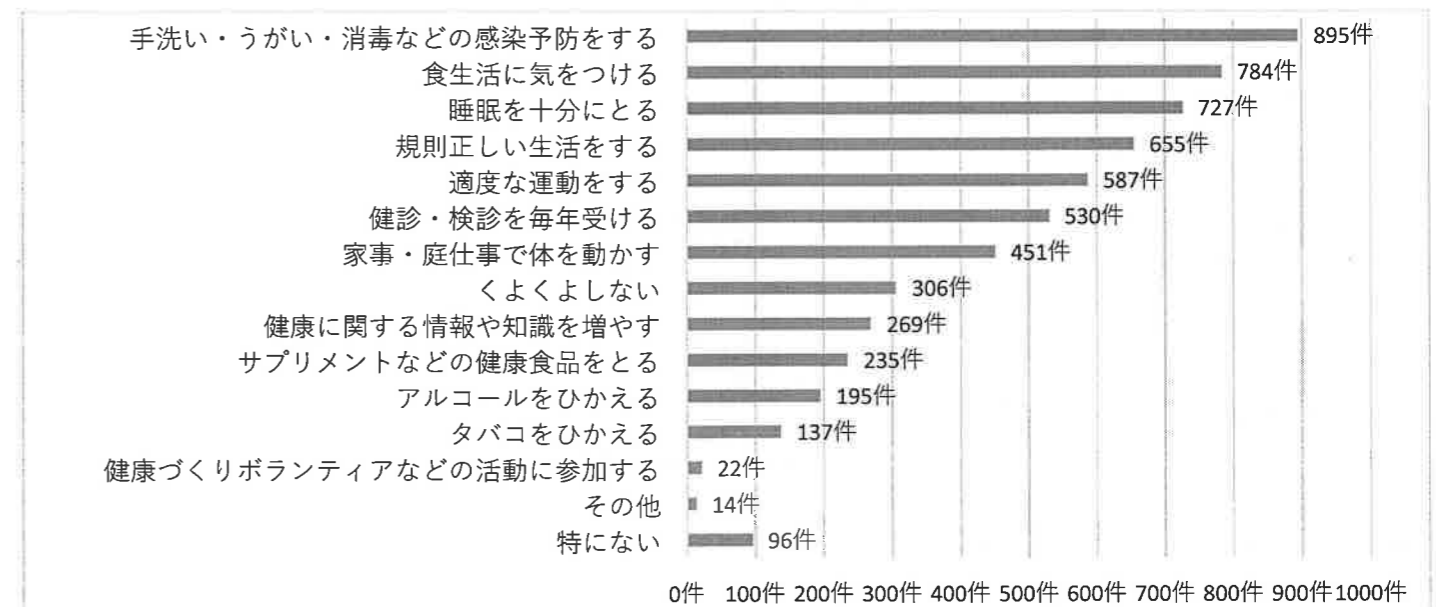
## 市民アンケートの結果（抜粋）

### (1) 調査概要

調査対象	6歳～85歳の帯広市民	回収結果			回収率		
		発送数	回収数				
調査対象数	2,500名	2,500	1,345		53.8%		
調査時期	令和4年8月		内訳	紙		1,025	76.2%
調査方法	郵送により発送し、紙及びwebにより回収			web		320	23.8%

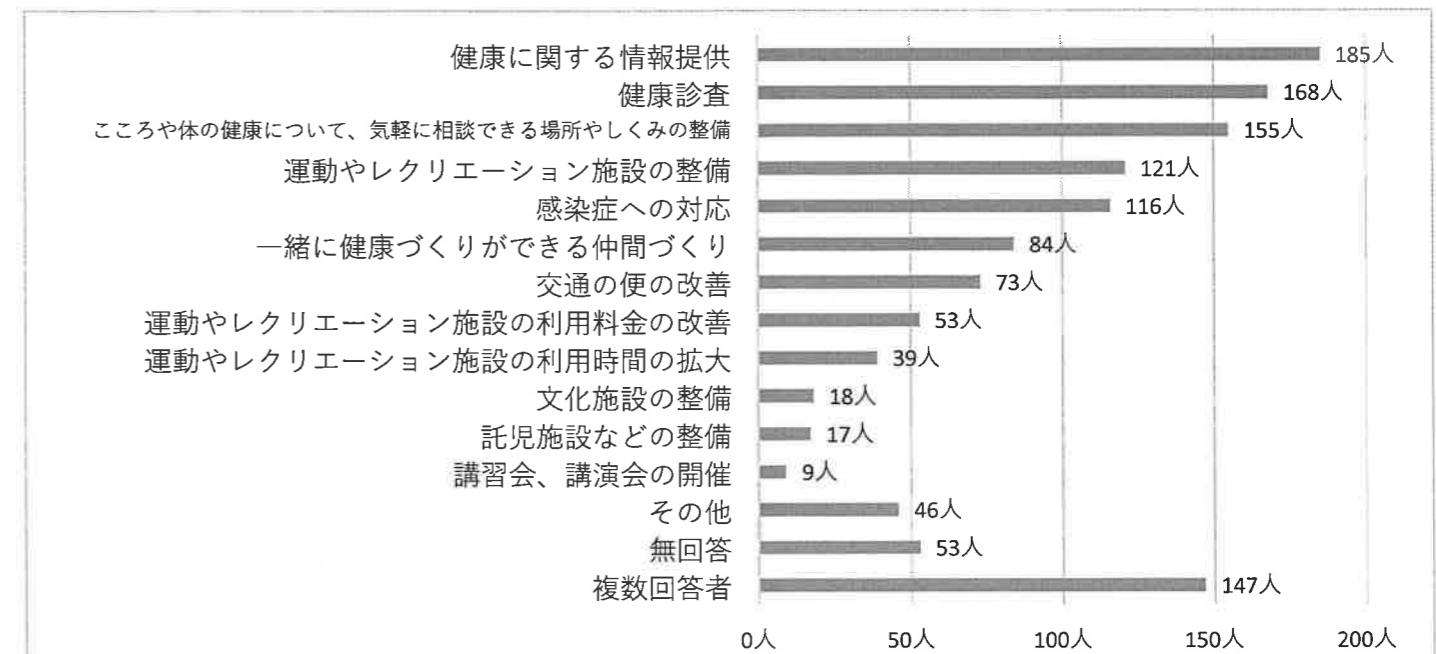
### (2) 調査結果（抜粋）

#### Q 健康維持・増進のために、普段どのようなことを心がけていますか？（複数回答）



その他…毎日本体温を測り記載、定期的な受診、歩く など

#### Q あなたは今後、市民の「健康づくり」のために特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか？



その他…労働時間の縮減、犬と一緒に参加できる運動イベントの開催、サイクリングロードの整備、健康は公的機関がつくるものではない、医療費の補助、健診に対する助成、孫と冬に遊べる場所、小さい時からの教育、平日の外でのレクリエーションを増やす など